

科目名	母性看護学実習	単位数・時間数	2 単位 90 時間	開講年次	2～3 学年
担当講師名	専任教員、実習指導者		実習場所	二戸病院	
目的	母性看護の対象(妊婦・産褥・褥婦・新生児とその家族)を理解し、母子及びその家族が健康に過ごせるように、母子とその家族に対する看護実践に必要な知識・技術・態度を習得し、生命の尊厳について学ぶ				
到達目標	1. 妊婦による母体及び胎児の変化を知り、妊婦経過に応じた看護が理解できる 2. 分娩期の経過に応じた看護が理解できる 3. 産褥期の経過に応じた看護が理解できる 4. 退院に向けての家族を含めた指導が理解できる 5. 母子とその家族に関わる諸制度と保健医療チームの連携について理解できる 6. 新生児が子宮外生活に適応していく過程を理解できる 7. 実習での学びを統合させ、母子看護における事故の看護観を深めることができる				
実 習 内 容 ・ 方 法	<b>【妊娠期】</b> 1. 外来にて妊婦健診の見学と計測等の実施 2. 妊婦と関わり、妊娠経過に影響する因子や妊婦の心理を知る 3. 医療管理が必要な妊婦への看護を知る 4. 妊婦とその家族が活用できる社会資源を知る <b>【分娩期】</b> 1. 妊娠経過の情報収集 2. 分娩各期の観察と看護の実践 3. 産婦や家族との関わりから心理を知る 4. 母子相互作用や早期接触場面を見学し利点を知る <b>【産褥期】</b> 1. 妊娠、分娩経過の情報収集 2. 産褥期の生理的变化の観察とアセスメント 3. 正常な産褥経過を促進させるための日常生活援助の実施 4. 母親役割意識、行動の確認と援助 5. 産褥期の保健指導の見学 6. 母子とその家族に必要な社会資源を知る <b>【新生児の看護】</b> 1. 出生直後の新生児の観察と処置の見学 2. 新生児の観察とアセスメント 3. 正常な発育を促進させるための援助の実施  妊婦、産婦、褥婦、新生児看護を通して、母性看護における自己の看護観を深め、レポートする。				
備考	詳細は、実習要綱を参照する				
成績評価方法	実習評価表に基づき評価する				